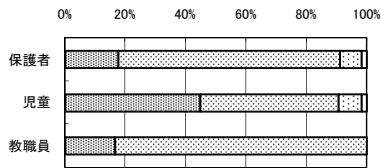


■4- そう思う □0- どちらかといえば、そう思う □2- どちらかといえば、そう思わない □1- そう思わない

学校教育目標

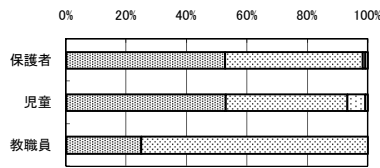
1 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。



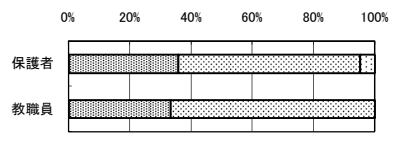
2 意欲的な学校生活

子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。



3 教師の連携協力

学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。

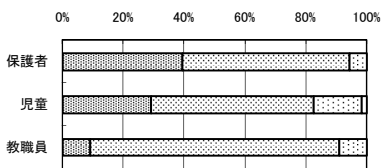


【学校から】本年度は、「徳・知・体」の調和のとれた児童の育成とともに、生涯学習社会を展望した教育指導を推進することを教育目標に掲げ、特に、あいさつや返事がきちんとできる子どもの育成に重点を当てている。その総合的な評価がこの3項目にあらわれている。4-そう思う、3-どちらかといえば、そう思うの割合を見れば、ほとんどが90%後半の値を示しており、昨年度よりもずいぶん向上の跡が見られる。さらに、教育方針や教育目標を子どもや保護者、地域にわかりやすく示す必要がある。また、以下の各項目で課題が出ているので、今後、個々の課題を解決しながら教育活動のいっそうの充実を図っていきたい。

教科指導

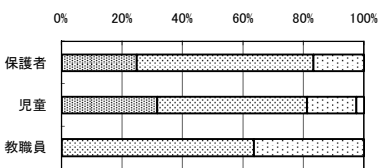
4 授業づくりの工夫

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



5 意欲的な学習態度

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。

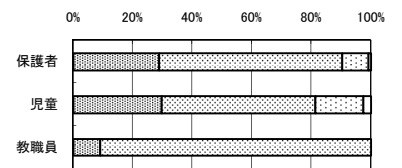


【学校から】わかる授業づくりのために、教材を工夫し、ICTを活用するなど授業を改善する必要がある。また、子どもたちが意見を出し合い、高め合っていくように学習過程を工夫することが大切である。主体的な学習態度については、教師はまだできていないと考えていて児童の意識とずれがある。校内研修で取り組んでいる、よき聞き手、積極的話し手を育てる指導の工夫をしながら、他校の学ぶ姿をVTRで見る等の工夫も必要だと思う。

総合的な学習の時間

6 総合的な学習の時間の充実

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。

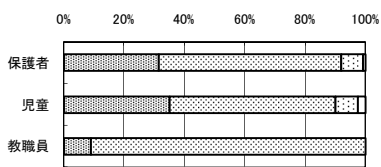


【学校から】前年度と比較すると教職員の評価はやや高くなっている。人材リストの活用が進み、取り組みやすくなっていると考えられる。これからさらに充実した取り組みができるよう年間指導計画を充実させたい。

道徳教育 心の教育

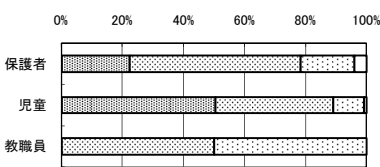
7 道徳、心の教育の充実

学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切に育てる心の教育の充実に取り組んでいると思いますか。



8 あいさつ、礼儀の励行

子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。

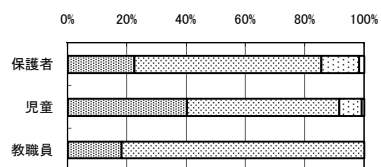


【学校から】「道徳、心の教育の充実」については、前年度と比べると、保護者と児童の評価はあまりかわらないが、教職員の評価は少し上がっている。今後も、思いやりや感謝の心をもっと育てる取り組みを積極的に実施する必要がある。「あいさつ、礼儀の励行」については、前年度と比べると、教職員の評価は少し上がっているものの、児童の評価は下がっている。朝から、教職員や委員会の児童を中心にあいさつ運動を行い、あいさつをする児童は増えている。今後も継続して取り組み、子どもの意識を高める必要がある。道徳教育の要である道徳の授業の時間に道徳的価値を自覚させるとともに、学校生活全体で実践力を高めるよう取り組んでいく必要がある。

人権教育

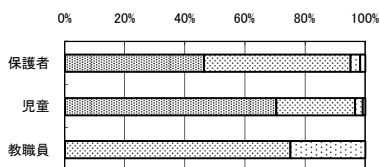
9 一人一人の生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切に指導や対応ができていると思いますか。



10 友だちへの思いやり

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。

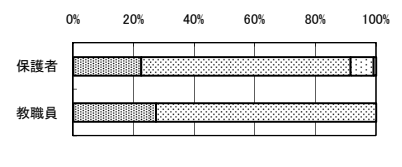


【学校から】一人一人の子どもを大切に指導や対応ができていないという意見が見られることから、引き続き教育相談等の時間を確保し、保護者との連携も図りながら、個々の児童とじっくり触れ合う時間の確保を継続していく必要がある。また、公平な態度で接することができる児童が少ないと思われる。各学級で違いのよさや可能性を認め合えるなかまづくりに努め、学級懇談会などを活用し、家庭と学校が連携し方策を考えていくことが必要である。

特別支援教育

11 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

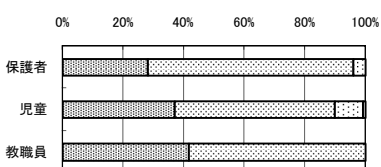


【学校から】前年度と比較すると、教職員の評価が高くなっている。週3日の学級支援員の配当により、当該児童への支援が進められていることが大きな要因であると考えられる。

生徒指導 教育相談

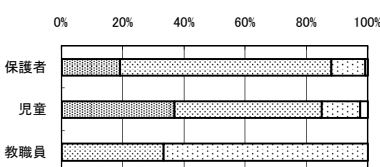
12 生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとして努めていると思いますか。



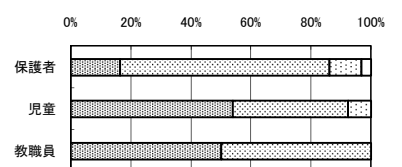
13 規範意識

子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。



14 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

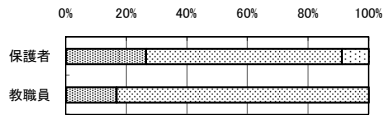


【学校から】規範意識に関して、児童や保護者は昨年度に比べて、大きな変化はないが、教職員の見方が昨年同様改善が必要と考えている。それは、教職員の異動による子どもたちを見る目の変化かもしれない。一般的に大人の規範意識の低下による地域の教育力の低下が進んでいると言われる。その中で生きている子どもたちなんだと考えると、子どもたちの規範意識の低下は致し方ないかもしれないが、そんな時だからこそ、学校、家庭、地域の3者が協力し、できることから進めていかなければならないと思う。

## 健康教育 安全

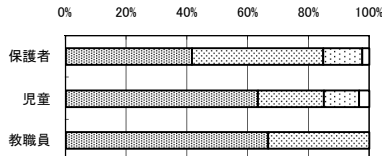
### 15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。



### 16 体力向上

子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。

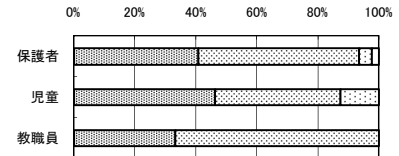


【学校から】子どものケガの状況を見ると、昼休みに集中しており中でも頭部打撲が全体の26%であった。子どもたちは進んで体を動かしてはいるが、周囲の状況を判断して活動ができているとは言えない。今後、調整力や巧緻性を高めるような運動を入れていくとともに、事故防止に向けて、安全点検の充実を図り、活動の仕方についても指導をしていきたい。また、う歯保有率や食生活など生活習慣にも課題がみられるので、家庭との連携を深め、保護者への啓発をさらに進めていくことも大切であると考えられる。

## 学校行事

### 17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。

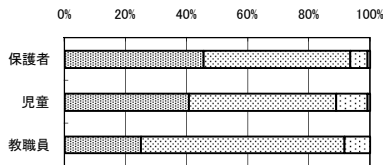


【学校から】昨年度よりも評価が高まり90%以上が工夫されていると回答している。行事の見通しが立てられるように、早めに保護者に日程や内容を通知したりするなどの工夫がさらに必要である。

## 学校環境

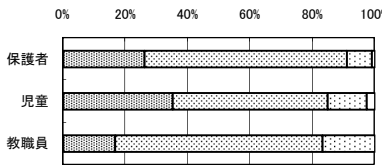
### 18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。



### 19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

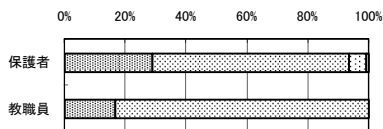


【学校から】環境の整理・美化においては、昨年度の結果と比べると保護者、児童、教職員ともに向上している。一人一鉢の取組や学校園・学級園への花の栽培など1年中計画的に行われている。施設・設備の老朽化が進む中で、毎月の安全点検、危険箇所や修理が必要な箇所は迅速に対応してきた。施設・設備の改善については、安全の視点を最重視しながら、温かみのある、使いやすい施設・設備の構築が課題である。PTAと地域協力者の方でアスレチックが作られている。この他、市教委の方から耐震補強が行われることになっている。老朽化している部分は、今後、市教委と連携しながら学校環境の充実を図っていきたい。

## 情報の公開・発信

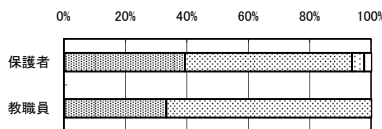
### 20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。



### 21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。

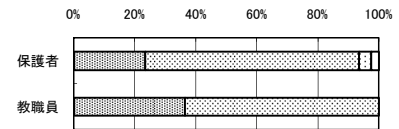


【学校から】学校の予定等がわかる情報発信では、保護者94%、教職員100%と昨年と比べて向上している。学校から保護者や地域への情報は、学校便り、学級・学級便り、保健・給食・図書便り、生活指導便りなどを文書を通して発信してきた。また、ホームページにおいて、各学年の取組を随時更新しながら公開している。教育活動への参加については、保護者、94%、教職員100%とおおむね良好という結果であり、昨年度よりわずかではあるが向上している。今後とも保護者のニーズをより的確に把握しながら、情報の公開・発信を行っていく。

## 家庭・地域との連携

### 22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



【学校から】昨年度と比べて大きく向上している。おおむね良好と評価できる値が、保護者は、94%で10%向上している。また、教職員も100%と21%と大幅に向上している。学校・家庭・地域とこの三者がお互いを大切にして協力関係ができてきているものと考えられる。これからも、この関係を維持しながら、学校全体で取り組んでいく。

## 来年度の具体的な取り組みについて

本年度の学校運営に関して、保護者、児童の大半は概ね良好としている。これは校長を中心とした教職員が一丸となって取り組んでいることが評価されたものと考えられる。一方、教職員は、意欲的な学習態度、あいさつ・礼儀の励行、友だちへの思いやり、規範意識といった面で厳しい評価を持っている。また、保護者は、一人一人の生徒の尊重、いじめや問題への対応、体力向上では、やや教職員との意識の差が見られる。本年度の評価結果から様々な課題を見つけていくことができた。来年度の具体的な取組として重点課題を絞って取り組んでいきその他の課題についても解決の取組の中でその糸口が見えてくるものと考えている。(1)意欲的な学習態度では、意欲的に授業に取り組んでいくには、教職員の授業研究が重要な意味がある。分ける授業・楽しい授業を求めている校内研修の充実を図りたい。また、児童においては、よき聞き手、積極的話し手となるための基本的な学習の決まりを守れるように徹底を図りたい。(2)あいさつ・礼儀の励行では、児童会・生活委員会の呼びかけにより向上しているが、学校内ではできるが、地域に戻ればまだできていないのが実情である。保護者・学校・地域での運動を呼びかけていきたい。(3)一人一人の生徒の尊重・友だちへの思いやり・いじめや問題への対応などでは、心の面が大きく関わってくる問題である。教育相談の機会を学期に1回設定したり、いつでも相談に乗れる体制を作っている。また、学校の組織として、月に1回の生徒指導推進委員会や人権特別支援教育委員会での対応の検討など充実を図りたい。(4)規範意識については、生徒指導推進委員会が問題になった点を全職員で取り組むように共通理解を図っている。また、児童会の生活委員による取組も大いに効果が期待できる。自分たちのことは自分たちで解決して中島小学校をもり立てていこうという気概を子どもたちに持たせていきたい。(5)安全と事故防止・体力向上では、児童のケガが休み時間の遊びを通して多く見られる。特に頭部のケガも多い。体育の授業での調整力や巧緻性を高める運動を多く取り入れていかねばならない。また、家庭に帰ってからの外遊びやスポーツが少なくなっている傾向にあると考えられる。地域での遊び方などジャンボユアタイムなどを機会に広めていきたい。

## 学校関係者評価

学校からの情報発信ですが、学校側からは必要な情報発信はされていると思います。それがどれだけ家庭に行き渡っているか疑問である。先生方が工夫して授業をされている様子など伝わって欲しい。学校では、「来年度の具体的な取り組み」として、課題を整理されているので、充実されることを望みます。あいさつ運動で、毎朝、校長先生が先頭に立ってされていることは、すばらしいと思います。先生方や地域の方々が、協力して子どもたちの教育環境を整える努力をされており、とてもよいことだと感じました。学習以外でも、子どもたちが楽しく学校生活を送れるよう工夫されることを望みます。学校にお邪魔した際、先生と子どもが仲良く話をされる様子が見られ、信頼関係がきちんと築けているのを感じ、温かい気持ちになりました。学校でいろいろな体験を企画してくれるので、子どもたちも楽しく興味深く参加していると思います。一つのことからいろいろなことへ目を向けていけば自分の中に取り込むことができるとは思いません。何に対しても自分の中で広げていくことが足りないのかなと思います。今年の学習発表会は、子どもたちも楽しく生き生きとされていて、声も大きくいつもより見ている私たちも楽しく観させていただきました。学校生活が充実していることの現れだと感じました。家庭学習の話が出ましたが、高学年になるとテストの結果や勉強で理解できないところなどを話さない、見せてくれないところがあります。よければ先生方で理解していないと強く感じるときは連絡をいただければ幸いです。